

発行者 観 点	2・東書	15・三省堂	17・教出	38・光村
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	○ [知識及び技能]の内容について、取り上げられている学習活動 <第1学年> ・浦島太郎について書かれた文章を読み、古典を学ぶ意味を理解する活動 <第2学年> ・写真資料と併せて古典を学び、筆者のものの見方や考え方、表現の仕方を捉える活動 <第3学年> ・古典の言葉を読み味わい、引用して自分の考えをまとめる活動	<第1学年> ・古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界に親しむ活動 <第2学年> ・漢詩の表現やリズム、漢詩に描かれた情景を捉え、古人の心情を想像する活動 <第3学年> ・歴史的背景などに注意して古文を読み、作者のものの見方や考え方を捉える活動	<第1学年> ・昔話を読んで古典には様々な作品があることを知り、古典の仮名遣いに触れる活動 <第2学年> ・文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れ親しむ活動 <第3学年> ・和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、歌のリズムを味わう活動	<第1学年> ・3年間の古典の学習を見通し、その学びが現代にどのように生きていくかを理解する活動 <第2学年> ・古典の世界を感じることでできる図版資料から、その世界観を視覚的に味わう活動 <第3学年> ・古典の文章の中から心に響いた言葉を引用し、自分の思いを伝える活動
	○ 話すこと・聞くことについて、目標が達成できるよう取り上げられている学習活動 <第1学年> ・話合いの展開に注意して考えをまとめる活動 <第2学年> ・互いの立場等を尊重しながら話し合い、結論を出す活動 <第3学年> ・話し合っって合意を形成する活動	<第1学年> ・話題や展開に沿って話合いをつなげる活動 <第2学年> ・互いの考えを尊重しながら話し合う活動 <第3学年> ・合意形成に向けて話し合いを計画的に進める活動	<第1学年> ・話題を意識して話し合い結論をまとめる活動 <第2学年> ・よりよい結論を導く討論をする活動 <第3学年> ・意見を共有しながら話し合う活動	<第1学年> ・話題や展開を捉え協力して議論を深める活動 <第2学年> ・多様な捉え方ができる問題について討論する活動 <第3学年> ・課題を見付け合意形成に向けて話し合う活動
	○ 書くことについて、目標が達成できるよう取り上げられている学習活動 <第1学年> ・意見文について助言し合う活動 <第2学年> ・根拠の適切さについて吟味して意見文を書く活動 <第3学年> ・論の進め方を考え説得力のある批評文を書く活動	<第1学年> ・日常生活の中から題材を決め詩を書く活動 <第2学年> ・文章の構成や展開を工夫して論説文を書く活動 <第3学年> ・社会生活の課題についてポスターを書く活動	<第1学年> ・複数の資料を比較して根拠を基に意見文を書く活動 <第2学年> ・事実や体験を基に理由付けをしながら意見文を書く活動 <第3学年> ・具体例を基に一般的な特徴を導き説明文を書く活動	<第1学年> ・グラフなどの統計資料を引用してレポートを書く活動 <第2学年> ・表現の効果を考えながら鑑賞文を書く活動 <第3学年> ・客観的に対象を分析し説得力のある批評文を書く活動
	○ 読むことについて、目標が達成できるよう取り上げられている学習活動 <第1学年> ・必要な情報を取り出して要約する活動 <第2学年> ・文章を読み比べて論の進め方を考える活動 <第3学年> ・文章に表れている考えを捉え吟味する活動	<第1学年> ・説明文の基本構造を捉え内容を把握する活動 <第2学年> ・主張と例示との関係に着目して文章を読む活動 <第3学年> ・文章を批判的に検討しながら自分の考えを確かにする活動	<第1学年> ・筆者の考えを踏まえて自分の考えをまとめる活動 <第2学年> ・作品の構成上の特徴と効果について意見を交流する活動 <第3学年> ・表現の効果や読み手に与える印象について話し合う活動	<第1学年> ・記述や図表を根拠として自分の考えをまとめる活動 <第2学年> ・文章の構成や論理の展開について話し合う活動 <第3学年> ・友だちの批評を読んで考えが深まったことを発表する活動

発行者 観 点	2・東書	15・三省堂	17・教出	38・光村
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習へ対応する学習活動 ・「てびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章の書き方の工夫について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動（第1学年）	・「学びの道しるべ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、筆者の考えに対して自分の考えをもつなど、考えを広げたり深めたりする活動（第1学年）	・「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、互いの考えを尊重し根拠が妥当であるか評価するなど、考えを広げたり深めたりする活動（第3学年）	・「学習（手びき）」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、対象を評価し自分の考えを確立したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動（第3学年）
内容の構成・排列、分量等	○ 系統的・発展的に学習できるような工夫 ・相手の考えとその根拠に注意して聞き、自分の考えと比べる活動（第2学年）の後に、話の内容や表現の仕方を評価しながら聞き、自分の考えを広げる活動（第3学年） ○ 内容の分量 ・第1学年 336 ページ（2%増） ・第2学年 340 ページ（1%増） ・第3学年 348 ページ（4%増）	・編集会議を開き、情報誌にまとめて、発表会をする活動（第2学年）の後に、中学校生活を振り返り、編集方針を立てて名言集にまとめ、交流する活動（第3学年） ・第1学年 351 ページ（10%増） ・第2学年 351 ページ（8%減） ・第3学年 335 ページ（9%増）	・考えと比較し、共通点や相違点を踏まえて考えをまとめる活動（第1学年）の後に、話し手の考えと自分の考えを比較・質問しながら、自分の考えをまとめる活動（第2学年） ・第1学年 344 ページ（2%増） ・第2学年 356 ページ（2%増） ・第3学年 344 ページ（1%減）	・筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えをもつ活動（第1学年）の後に、観点を明確にして文章を比較し、その分析を基に構成や表現の効果を考える活動（第2学年） ・第1学年 344 ページ（1%増） ・第2学年 330 ページ（1%増） ・第3学年 318 ページ（3%増）
使用上の配慮等	○ 学習意欲を高める工夫 ・おすすめの本のポップを作り、その本の魅力を紹介し合う活動（第1学年） ・国語学習の意義を示した「言葉の学習を始めよう」を掲載（全学年） ○ 主体的に学習に取り組む工夫 ・「言葉の力」に、「話す・聞く」「書く」「読む」それぞれの教材で身に付けたい学びのポイントを掲載（全学年） ○ 使用上の便宜 ・他教科の学習や生活に生かせるよう「学びを支える言葉の力」を掲載（全学年） ・脚注欄などの小さな文字や色文字の振り仮名にはゴシック体を使用する配慮	・相手に伝えたい事柄や気持ちを明確にして手紙を書く活動（第2学年） ・活用できる実践的知識や具体的な学び方をまとめた「資料編」を掲載（全学年） ・巻頭の「領域別教材一覧」に「つきたい力」を提示し見通しをもたせ、教材の最後に振り返る機会を設定（全学年） ・他教科や社会生活の中で活用できるよう『読み方を学ぼう』一覧を掲載（全学年） ・独自のフォントを開発し、画数や点画の方向等において誤解が生じないよう配慮	・持続可能な社会の実現に向けて、課題を発見する活動（第1学年） ・生徒の自学自習に資する資料を収録した「まなびリンク」を掲載（全学年） ・巻頭の「言葉の地図」に教材ごとの指導事項や言語活動を総覧できる一覧や自ら学習を振り返る観点を提示（全学年） ・本教材や他教科での学習に役立つよう「言葉の自習室」を掲載（全学年） ・判読しやすい配色やレイアウトなどの工夫により学びやすい紙面づくりに配慮	・会議を開き、紙面構成を工夫した修学旅行記を編集する活動（第3学年） ・学習の参考となる資料を収録した「広がる学び深まる学び」を掲載（全学年） ・巻頭に「思考の地図」を掲載し、様々な場面で活用できる思考ツールや情報の可視化の方法を提示（全学年） ・他教科や日常生活に広げて活用できるよう「学習を振り返ろう」を掲載（全学年） ・小さな文字は、ユニバーサルデザインフォントを使用する配慮
指導上の配慮等	○ 地域素材 ・方言と共通語を学ぶ題材において北海道の方言が扱われるとともに、働き方を調べる題材の例として旭山動物園長が扱われるなどしている	・方言と共通語を学ぶ題材において北海道の方言が扱われるとともに、元旭川市職員（旭山動物園飼育員）が著した旭山動物園を題材とした評論文教材が扱われるなどしている	・読書教材において、アイヌ女性である知里幸恵の生涯を紹介する題材が扱われるとともに、郷土ゆかりの作家である三浦綾子の「塩狩峠」が扱われるなどしている	・方言と共通語を学ぶ題材において北海道の方言が扱われるとともに、郷土ゆかりの作家である三浦綾子の「塩狩峠」の文章の一部が扱われるなどしている

発行者 観 点	2・東書	15・三省堂	17・教出	38・光村
指導上の配慮等	<p>○ ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「Dマーク」(QRコード)を掲載し、「話す・聞く」活動を行う際の手本の動画、古典の朗読音声、練習問題や補充問題などが活用できるよう工夫されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次元コード(QRコード)を該当ページへ掲載し、古典教材の現代語訳、読書教材の図解例などが活用できるよう工夫されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学びリンク」(QRコード)を掲載し、言語活動を進める際の手本となる動画、教材に関わる資料やワークシートなどが活用できるよう工夫されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次元コード(QRコード)を該当ページへ掲載し、「話す・聞く」活動を行う際の手本や解説の動画、古典の朗読音声などが活用できるよう工夫されている</li> </ul>
	<p>○ 小中連携による指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年の巻頭に「小学校で学んだこと」を掲載するとともに、前半の教材は、文章量を抑え、小学校の復習となる内容とされている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年第1単元を学級開きにふさわしい教材配列にするとともに、第1学年に小学校で学習した基礎を確認できる教材が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年の新出漢字に小学校6学年の配当漢字も含められるとともに、「学びナビ」で、小学校での学習を踏まえた解説が加えられている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年の第1単元に入る前に「言葉に出会うために」を設定し、小学校で学んだ基礎・基本を確認できるようにするとともに、前半の教材は文章量が抑えられている</li> </ul>
本市生徒の学習の状況等	<p>○ 身に付けた言葉の力を日常の学習や生活場面で活用するための配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の終末に、単元を通して身に付けた力やその力をどのように生かしていくかを言語化して確認する「振り返り」が設定されている</li> <li>巻末「学びを支える言葉の力」において、学んだことを活用する例を示した「つながる・広がる」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の終末に目標を振り返り、自分の言葉でまとめるよう促す「学びを振り返ろう」が設定されている</li> <li>単元の学びを発展的に学ぶ活動を示す「学びを広げる」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標を明確に示すとともに、単元の終末に、目標が達成できたか確認する「振り返り」が設定されている</li> <li>学んだことを他教科等で生かす例を示した「学びを生かそう」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習を通して「何ができたようになったか」を指導事項に基づく観点別に言語化して確認する「振り返る」が設定されている</li> <li>学んだことを応用し、問題の解決を通して力の定着を図る「学習を振り返ろう」が巻末に設定されている</li> </ul>
	<p>○ 目的に応じて、情報を活用して書く力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学びを支える言葉の力」で情報の整理の仕方を学んでから紹介文を書く活動などが設定されている</li> <li>伝える目的に応じて情報を集めて新聞を書く活動などが設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「情報」で情報の関連付けの仕方を学んでからリーフレットを書く活動などが設定されている</li> <li>自分の考えを読み手に伝わるように論説文を書く活動などが設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「メディアと表現」で写真の特徴を理解し活用の仕方について考える活動などが設定されている</li> <li>読み手によく伝わるように文章を評価・推敲して書く活動などが設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「情報整理のレッスン」で比較・分類の仕方を学んでから説明文を書く活動などが設定されている</li> <li>自分の意見を明確に伝えるように意見文を書く活動などが設定されている</li> </ul>
	<p>○ 文章を読んで自分の考えを持ち、根拠を明確にして表現する力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「てびき」において、読み方と考えを表現する学習過程が示されている</li> <li>文学作品を読み深め、描写や表現を捉えて考えたことを話し合う活動などが設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学びの道しるべ」において、内容を整理する、読みを深める、自分の考えを深める学習過程が明確にされている</li> <li>文学作品を読み深め、表現の工夫を生かすように朗読する活動などが設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みちしるべ」において、内容を読み深め、自分の考えを伝え合う学習過程が明確にされている</li> <li>文学作品の構成上の特徴について効果を話し合う活動などが設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学習」において、「捉える」「読み深める」「考えもつ」の段階的に考えを形成する学習過程が明確にされている</li> <li>文学作品を読み深め、主人公と異なる別の人物の視点から文章を書き換える活動などが設定されている</li> </ul>
その他	<p>○ 語彙を広げ、豊かに表現する力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」の単元末の「広がる言葉」や、資料編「言葉を広げよう」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」の単元末に、教材に関連した語彙を取り上げた「語彙を豊かに」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元において、学習や思考に関わる用語や表現を取り立てて教材化した「この教材で学ぶ言葉」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語彙力向上のための教材を設定するとともに、巻末に資料「語彙を豊かに」が設定されている</li> </ul>